



## 2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月12日

上場会社名 株式会社 Olympicグループ 上場取引所 東  
 コード番号 8289 URL <http://www.olympic-corp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木住野 福寿  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 木村 芳夫 TEL 042-300-7200  
 四半期報告書提出予定日 2021年1月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第3四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	82,320	9.6	3,857	714.9	3,780	—	2,523	—
2020年2月期第3四半期	75,108	△3.3	473	22.9	341	8.0	180	△15.3

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 2,509百万円 (880.3%) 2020年2月期第3四半期 255百万円 (△25.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	109.87	—
2020年2月期第3四半期	7.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	66,810	25,874	38.7	1,126.40
2020年2月期	66,611	23,710	35.6	1,032.16

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 25,874百万円 2020年2月期 23,710百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	—	—	15.00	15.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 2021年2月期の配当予想は未定であります。

### 3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,000	8.5	4,600	582.8	4,500	727.8	3,000	791.1	130.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	23,354,223株	2020年2月期	23,354,223株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	383,449株	2020年2月期	383,003株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	22,971,000株	2020年2月期3Q	22,971,220株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年11月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受け、4月に緊急事態宣言が発令されましたことにより、過去に類を見ない経済状況が続きました。緊急事態宣言は5月末までに解除され、各個人や企業がそれぞれ感染拡大防止策を講じながら段階的に社会経済活動を再開してまいりましたが、回復に向けた動きは鈍く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、新型コロナウイルス感染症とそれに伴う社会生活の変化が消費行動に大きな影響を及ぼし、新たな生活形態から在宅需要が生まれました。その反面、社会活動の自粛が長引くことにより、雇用情勢の悪化や個人所得の減少が消費者の購買意欲を低下させることが懸念され、低価格志向などの生活防衛意識がこれまで以上に強まることが予想され、引き続き厳しい状況が続くものと思われまます。

このような状況の中、当社グループにおきましては、政府・自治体の指針に沿いながら、当社グループ店舗等を通じた感染症拡大の防止に細心の対策を講じつつ、安定した商品供給に努めるとともに、チラシに頼らず毎日お求めやすい価格で商品をご提供し続けるEDLP政策を継続してまいりました。

食品事業におきましては、地域や店舗規模に応じた商品構成への転換を進め、ディスカウント事業におきましても日用必需品を中心とした品揃えとして、季節や地域生活のニーズに臨機応変に対応できる売り場づくりを進めた効果もあり、感染防止対策関連の需要はもとより行動制限による内食・中食需要やいわゆる巣ごもりニーズを取り込むことができました。

専門店事業におきましても在宅比率の高まりから、ペット関連や園芸用品及びDIY関連、自転車関連が好調に推移いたしました。

第3四半期連結会計期間におきましては、小中高校の休校要請や東京都の外食産業の深夜営業短縮要請等が解除されるとともに、「Go Toキャンペーン」など外出喚起の政策や、前年に消費増税前の駆け込み需要がありましたこともあり、売上高は伸び悩みましたが、粗利率の改善は着実に進みました。また、経費につきましても、感染拡大防止に係る費用は発生したものの、不急の投資を抑えるなど引き続き営業経費の削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高に営業収入を加えた営業収益は823億20百万円(前年同四半期比9.6%増)となり、営業利益は38億57百万円(前年同四半期比714.9%増)、経常利益は37億80百万円(前年同四半期比1,005.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億23百万円(前年同四半期比1,297.3%増)となりました。

なお、当社グループは、小売事業の割合が高く、小売事業以外の事業に関しては重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億99百万円増加し、668億10百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ19億64百万円減少し、409億36百万円となりました。これは主に買掛金が増加したこと、短期借入金及び長期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ21億64百万円増加し、258億74百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の連結業績予想につきましては、2020年10月6日付の「業績予想に関するお知らせ」で発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,813	5,791
受取手形及び売掛金	1,483	1,425
商品	10,684	10,263
その他	1,278	1,188
流動資産合計	17,260	18,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,352	11,917
土地	15,024	15,024
その他(純額)	2,144	1,982
有形固定資産合計	29,520	28,924
無形固定資産	1,597	1,522
投資その他の資産		
敷金及び保証金	14,422	14,028
その他	3,805	3,666
投資その他の資産合計	18,227	17,694
固定資産合計	49,346	48,141
繰延資産	4	—
資産合計	66,611	66,810
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,465	9,424
短期借入金	16,451	14,387
未払法人税等	193	1,081
賞与引当金	292	858
資産除去債務	—	8
その他	3,839	3,425
流動負債合計	29,242	29,185
固定負債		
長期借入金	9,892	8,459
退職給付に係る負債	15	17
資産除去債務	583	589
その他	3,167	2,684
固定負債合計	13,658	11,750
負債合計	42,900	40,936
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,946	9,946
資本剰余金	9,829	9,829
利益剰余金	4,142	6,321
自己株式	△292	△293
株主資本合計	23,625	25,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84	69
その他の包括利益累計額合計	84	69
純資産合計	23,710	25,874
負債純資産合計	66,611	66,810

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	70,286	77,269
売上原価	47,516	51,304
売上総利益	22,770	25,965
営業収入	4,821	5,051
営業総利益	27,592	31,016
販売費及び一般管理費	27,119	27,158
営業利益	473	3,857
営業外収益		
受取利息	25	23
受取配当金	17	34
債務受入益	41	29
貸倒引当金戻入額	2	—
その他	22	56
営業外収益合計	109	143
営業外費用		
支払利息	222	208
その他	18	12
営業外費用合計	241	221
経常利益	341	3,780
特別損失		
固定資産除却損	35	36
減損損失	—	29
投資有価証券評価損	—	21
段階取得に係る差損	23	—
訴訟関連損失	29	—
特別損失合計	88	86
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	253	3,693
匿名組合損益分配額	△48	△29
税金等調整前四半期純利益	301	3,722
法人税、住民税及び事業税	112	1,167
法人税等調整額	8	31
法人税等合計	120	1,199
四半期純利益	180	2,523
親会社株主に帰属する四半期純利益	180	2,523

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	180	2,523
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	△14
その他の包括利益合計	75	△14
四半期包括利益	255	2,509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	255	2,509

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、「小売事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。